

令和6年度国内における米海兵隊との共同訓練 (レゾリュート・ドラゴン24)について

令和6年7月
防衛省

令和6年度国内における米海兵隊との共同訓練 (レゾリュート・ドラゴン24)について

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、**日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの**。

また、一部の訓練では、**島外避難に応用可能で国民保護や防災にもつながる訓練を実施します。**

【訓練の沿革】

令和3年度に初めて実施し、本年度が4回目。

【演習の実施場所及び期間】

▶ 演習期間：令和6年7月28日（日）～8月7日（水）

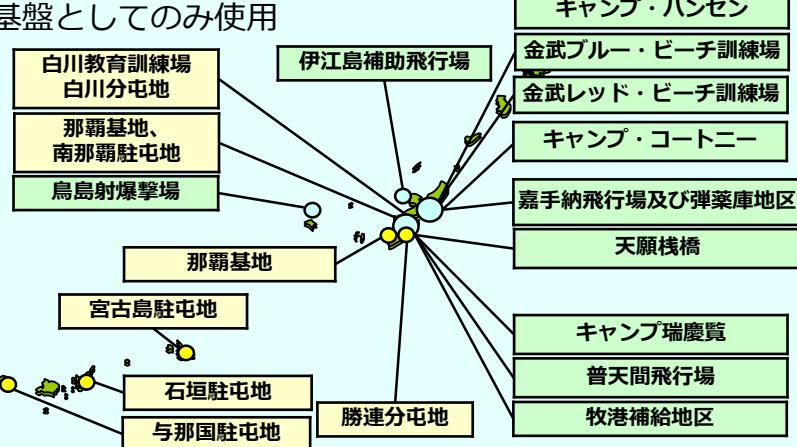
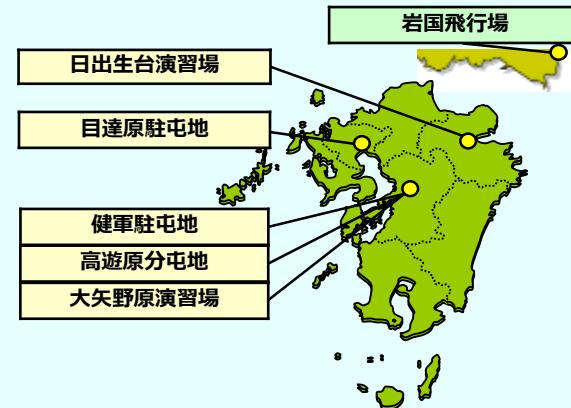
（本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定）

▶ 演習実施場所：山口県※、熊本県、大分県、佐賀県、
及び沖縄県の下記の場所

※ 山口県（米海兵隊岩国飛行場）は航空機の基盤としてのみ使用

- ・ **山口県**：米海兵隊岩国飛行場
- ・ **熊本県**：陸上自衛隊健軍駐屯地、
陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場
- ・ **大分県**：陸上自衛隊日出生台演習場
- ・ **佐賀県**：陸上自衛隊目達原駐屯地
- ・ **沖縄県**：県内的一部の自衛隊施設
及び在日米軍施設

凡例	自衛隊施設
	米軍施設



米海兵隊岩国飛行場の使用について

山口県

岩国飛行場においては、日出生台演習場及び大矢野原演習場等において実施する日米共同による対着上陸戦闘訓練、共同兵站訓練、共同衛生訓練等に参加する**米海兵隊航空機等の航空基盤**として、**駐機、飛行、整備等を実施する計画**です。

【期間】 令和6年7月28日（日）～8月7日（水）※1 ※1 本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約25名（陸上総隊（第1ヘリコプター団）等、V-22×1機程度）※2

※2 給油及び装備品展示のために一時的に飛来予定

米軍：米海兵隊、米空軍 約140名（第1海兵航空団、第353特殊作戦航空団等、KC-130×2機程度、MV-22×6機程度、CV-22×2機程度）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練要図



訓練イメージ



航空機の駐機等



航空機の飛行

健軍駐屯地及び高遊原分屯地の使用について

熊本県

健軍駐屯地においては、日米の共同調整所を開設した机上訓練（指揮機関訓練）を実施する計画です。

高遊原分屯地においては、日出生台演習場及び大矢野原演習場において実施する日米共同の対着上陸戦闘訓練や射撃訓練等に参加する陸自航空機及び米海兵隊航空機の航空基盤として、駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

【期間】 令和6年7月28日（日）～8月7日（水）※ ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約950名（西部方面総監部、西部方面航空隊、陸上総隊（第1ヘリコプター団）等、
AH-64×2機程度、CH-47×1機程度、UH-60×2機程度、OH-1×1機程度、
及びV-22×2機程度）

米 軍：米海兵隊、米海軍及び米陸軍 約300名（第3海兵機動展開部隊司令部、第3海兵師団、第1海兵
航空団、タスクフォース76／3、マルチドメイン・タスクフォース等、CH-53×4機程度）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練要図



訓練イメージ



机上訓練（指揮機関訓練）



航空機への燃料補給・整備

大矢野原演習場の使用について

熊本県

大矢野原演習場においては、**共同戦闘射撃訓練や日米オスプレイ、陸自CH-47等を使用した共同兵站訓練（燃料補給、整備等）や共同衛生訓練（患者後送等）を実施する計画です。**

【期間】 令和6年7月28日（日）～8月7日（水）※1 ※1 本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定

【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約400名（第4師団、西部方面航空隊、陸上総隊（第1ヘリコプター団）等、
AH-64×2機程度、CH-47×1機程度、UH-60×2機程度、OH-1×1機程度及び
V-22×2機程度※2、87式対戦車誘導弾、81mm迫撃砲、対人狙撃銃、スカイレンジャー等）

※2 陸自Vは高遊原分屯地を、陸自CH/UH/AH/OHは高遊原分屯地及び目達原駐屯地を航空基盤とする計画

米軍：米海兵隊、米空軍 約300名（第3海兵師団、第1海兵航空団、第353特殊作戦航空団等、

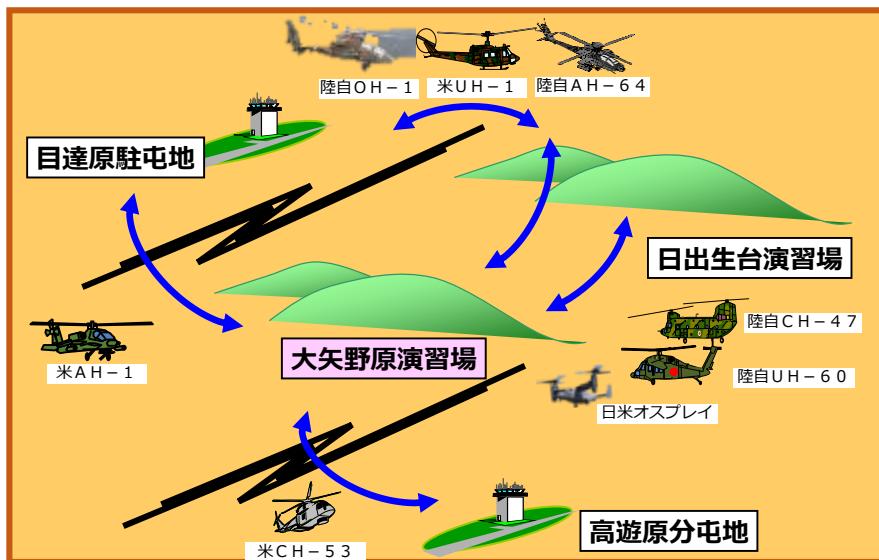
CH-53×4機程度、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、MV-22×6機程度、

CV-22×2機程度※3、81mm迫撃砲、60mm迫撃砲、ジャベリン等）

※3 米CHは高遊原分屯地を、米AH/UHは目達原駐屯地を、米MV/CVは岩国飛行場を航空基盤とする計画

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練要図



訓練イメージ



日出生台演習場の使用について

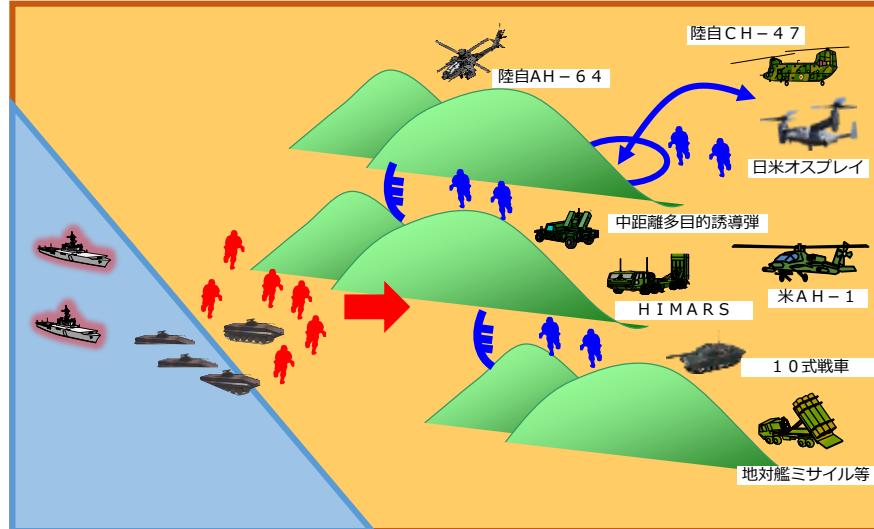
大分県

日出生台演習場においては、**日米の共同調整所を開設した机上訓練（指揮機関訓練）**、**日米共同による対着上陸戦闘訓練、共同兵站訓練（補給品の空中投下等）**や**共同衛生訓練（患者後送等）**、**共同戦闘射撃訓練等**を実施する計画です。

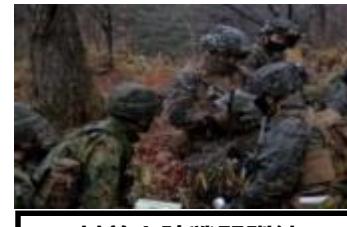
【期間】	令和6年7月28日（日）～8月7日（水） ^{*1}	※1 本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定
【参加部隊】	自衛隊：陸上自衛隊 約3000名（第8師団、第2特科団、第2高射特科団、西部方面航空隊、第2施設群、第301電子戦中隊、陸上総隊（第1ヘリコプター団）等、AH-64×2機程度、CH-47×1機程度、UH-60×2機程度、OH-1×1機程度、V-22×2機程度、空自C-130×1機程度 ^{*2} 、88式地対艦ミサイル、中距離地対空誘導弾、10式戦車、機動戦闘車、中距離多目的誘導弾、155mm榴弾砲、120mm迫撃砲、81mm迫撃砲、01式軽対戦車誘導弾、対人狙撃銃、UAV等）	
		※2 陸自Vは高遊原分屯地を、陸自CH/UH/AH/OHは高遊原分屯地及び目達原駐屯地を航空基盤とする計画
米軍：	米海兵隊、米空軍及び米陸軍 約1000名（第12海兵沿岸連隊、第1海兵航空団、第353特殊作戦航空団、マルチドメイン・タスクフォース等、KC-130×2機程度、CH-53×4機程度、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、MV-22×6機程度、CV-22×2機程度 ^{*3} 、米海兵隊・米陸軍HIMARS×5両程度、81mm迫撃砲、60mm迫撃砲、重機関銃、ジャベリン、UAV等）	
		※3 米CHは高遊原分屯地を、米AH/UHは目達原駐屯地を、米KC/MV/CVは岩国飛行場を航空基盤とする計画

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練要図



訓練イメージ



対着上陸戦闘訓練



共同兵站訓練（空中投下）



共同衛生訓練



共同戦闘射撃訓練